

平成 1 9 年度

大分市美術館

年 報

目次

1. 運営方針	4
2. 沿革	5
3. 展覧会事業	6
1. 特別展	6
2. 常設展	39
3. サマー企画	49
4. 教育普及事業	53
1. ハイビジョンシステム	53
2. ハイビジョンシアター	56
3. 芸術・文化に親しむ講座	57
4. 実技講座	57
5. アートカレッジ	57
6. 美術館で音楽会	58
7. 子ども講座	58
8. 出前鑑賞教室	59
9. 職場体験	60
10. ボランティア研修講座	60
11. ボランティア活動	61
12. 博物館実習	62
13. 各種刊行物	62
5. 資料収集事業	63
1. 美術品等収集事業	63
2. 平成19年度作品貸出実績	64
3. 図書	65
4. 映像資料	65
6. 管理運営	66
1. 職員数	66
2. 事務分掌	66
3. 利用状況	67
4. 建築設備概要	68
5. フロア別面積	70
6. 決算	71
7. 利用案内	71
8. 条例	72
9. 条例施行規則	72

7. アートプラザ	73
1. 運営方針	73
2. 施設概要	73
3. 業務内容	73
4. 現代美術作品 大分市美術館所蔵 常設展示	75
5. 利用案内	76
6. 利用状況	76
7. アートプラザ条例	77
8. アートプラザ条例施行規則	77
9. アートプラザ管理規則	77

1. 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ」美術館として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できる常設展やさまざまな優れた分野の美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人までが生涯学習の施設として「幅広く楽しめる」美術館の運営をめざしている。また、

- ① 豊後南画をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
- ② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
- ③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
- ④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

以上の方針に基づく収集保存活動をはじめとして、調査研究活動、展示活動、教育普及活動、広報活動という5つの活動を通じて、幅広く芸術文化の振興につとめている。

2. 沿革

昭和 60(1985)年		展示用美術品の購入開始
昭和 62(1987)年	6 月	市長、6 月議会において、美術館建設を表明 教育委員会社会教育課を所管事務担当とする
昭和 63(1988)年	8 月	大分市美術館基本構想委員会設置(委員 15 名、会長高辰雄画伯)
平成元(1989)年	3 月	ハイビジョン・シティ構想(郵政省)のモデル都市指定を受ける
	9 月	大分市美術館基本構想委員会が大分市美術館基本構想を答申
平成 2(1990)年	2 月	大分市美術館建設委員会設置(委員 17 名、会長高山辰雄画伯)
	4 月	教育委員会庶務課に美術館建設事務従事を置く
	5 月	美術館建設予定地を上野丘陵地に決定 (第 2 回大分市美術館建設委員会)
	6 月	(仮称)大分市美術館美術作品収集委員会設置要綱制定(委員 9 名)
平成 3(1991)年	4 月	設計者を内井昭蔵建築設計事務所と決定 (指名 5 社プロポーザル方式、第 4 回大分市美術館建設委員会)
	9 月	上野丘公園が「平成記念子どものもり公園(建設省)」に指定される
	10 月	市長、「美術館建設計画の見直し」を発表
平成 5(1993)年	4 月	教育委員会文化振興課を所管事務担当とする
平成 6(1994)年	12 月	市長、定例記者会見で旧県立図書館(磯崎新氏設計)の大分市での有効活用を発表
平成 7(1995)年	4 月	旧県立図書館を大分市が無償貸与を受ける
	9 月	美術館基本・実施設計委託(内井昭蔵建築設計事務所)
	12 月	美術館基本設計終了
平成 8(1996)年	4 月	教育委員会に美術館建設準備室を設置
	5 月	美術館実施設計完了
	9 月	美術館敷地造成工事着工
	12 月	美術館敷地造成工事完成 美術館新築工事着工
平成 10(1998)年	6 月	美術館本体工事完成
	9 月	美術館外構工事完成「大分市美術館条例」制定
	12 月	大分市美術館発足
平成 11(1999)年	2 月	17 日、開館
平成 12(2000)年	11 月	第 41 回建築業協会賞受賞
平成 14(2002)年	2 月	観覧者が 50 万人を超える
平成 16(2004)年	7 月	16 日、皇太子殿下行啓
平成 18(2006)年	4 月	機構改革により二課体制を一課とし、美術振興課設置
平成 19(2007)年	8 月	観覧者が 100 万人を超える

3. 展覧会事業

3. 1. 特別展

3. 1. 1. 高山辰雄・浜田知明・赤瀬川原平そして黒澤明の版画世界 —人と社会を見つめて—

概 要 大分市美術館では、現在まで日本画、洋画等の美術品 1,800 点余りを収集し、この内版画作品は約 700 点にのぼっている。

本展では、人と社会を鋭い視点で捉え、独自の作品を生み出した、現代日本を代表する美術家高山辰雄（1912～2007）、浜田知明（1917～）、赤瀬川原平（1937～）に加え、映画界の巨匠黒澤明（1910～1998）の魅力あふれる版画の世界を紹介した。

会 期 平成 19 年 4 月 20 日（金）～5 月 20 日（日） 公開日数 28 日

後 援 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 72 点

観覧者数 2,354 人

観 覧 料 一般 300（250）円/高大生 200（150）円、中学生以下無料

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日 時 会期中毎週水曜日 午後 2 時～

場 所 企画展示室

参加者 47 名

印刷物 ポスター B2 判、チラシ A4 判

関連記事 「高山、浜田、赤瀬川、黒澤 4 氏の版画世界紹介」『西日本新聞』4 月 18 日

「大分市美術館で版画世界展」『大分合同新聞』4 月 21 日

「大分市美術館で特別展「版画世界」」『大分合同新聞』4 月 26 日

（担当／岡村）

目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	高山辰雄	聖家族 I	1976	14.7×18.0	エッチング
2	高山辰雄	聖家族 II	1976	32.6×23.5	エッチング
3	高山辰雄	聖家族 III	1976	36.0×29.0	エッチング
4	高山辰雄	聖家族 IV	1976	36.0×29.5	エッチング
5	高山辰雄	聖家族 V	1976	36.3×29.3	エッチング
6	高山辰雄	聖家族 VI	1976	35.3×28.8	エッチング
7	高山辰雄	聖家族 VII	1976	32.1×23.3	エッチング
8	高山辰雄	聖家族 VIII	1976	36.3×29.8	エッチング
9	高山辰雄	聖家族 IX	1976	32.7×23.8	エッチング
10	高山辰雄	聖家族 X	1976	25.8×34.2	エッチング
11	高山辰雄	聖家族 X I	1976	28.8×35.8	エッチング
12	高山辰雄	聖家族 X II	1976	23.8×32.8	エッチング
13	高山辰雄	聖家族 X III	1976	29.7×36.4	エッチング
14	高山辰雄	聖家族 X IV	1976	23.3×32.3	エッチング
15	高山辰雄	聖家族 X V	1976	23.8×32.5	エッチング
16	高山辰雄	聖家族 X VI	1976	26.3×34.5	エッチング
17	高山辰雄	すがた 1	1996	35.5×30.0	リトグラフ
18	高山辰雄	すがた 2	1996	35.5×30.0	リトグラフ
19	高山辰雄	すがた 3	1996	35.5×30.0	リトグラフ
20	高山辰雄	すがた 4	1996	35.5×30.0	リトグラフ
21	高山辰雄	すがた 5	1996	35.5×30.0	リトグラフ
22	高山辰雄	すがた 6	1996	35.5×30.0	リトグラフ
23	高山辰雄	すがた 7	1996	35.5×30.0	リトグラフ
24	高山辰雄	すがた 8	1996	35.5×30.0	リトグラフ
25	高山辰雄	すがた 9	1996	35.5×30.0	リトグラフ
26	高山辰雄	すがた 10	1996	35.5×30.0	リトグラフ
27	高山辰雄	玄乃玄 1	2006	55.5×37.0	リトグラフ
28	高山辰雄	玄乃玄 2	2006	55.5×37.0	リトグラフ
29	高山辰雄	玄乃玄 3	2006	55.5×37.0	リトグラフ
30	高山辰雄	玄乃玄 4	2006	55.5×37.0	リトグラフ
31	高山辰雄	玄乃玄 5	2006	55.5×37.0	リトグラフ
32	高山辰雄	玄乃玄 6	2006	55.5×37.0	リトグラフ
33	高山辰雄	玄乃玄 7	2006	55.5×37.0	リトグラフ
34	高山辰雄	玄乃玄 8	2006	55.5×37.0	リトグラフ
35	高山辰雄	玄乃玄 9	2006	37.0×55.5	リトグラフ
36	高山辰雄	玄乃玄 10	2006	37.0×55.5	リトグラフ
37	高山辰雄	玄乃玄 11	2006	37.0×55.5	リトグラフ
38	高山辰雄	玄乃玄 12	2006	37.0×55.5	リトグラフ
39	高山辰雄	玄乃玄 13	2006	37.0×55.5	リトグラフ
40	高山辰雄	玄乃玄 14	2006	37.0×55.5	リトグラフ
41	浜田知明	せかせか	1975	26.8×28.4	エッチング・アクアチント
42	浜田知明	いらいら (B)	1975	36.2×28.0	エッチング・アクアチント
43	浜田知明	ややノイローゼ気味 (版画集「曇後晴」)	1975	22.4×14.5	エッチング・アクアチント

44	浜田知明	叫び (版画集「曇後晴」)	1975	21.5×21.6	エッチング・アクアチント
45	浜田知明	顔 (版画集「曇後晴」)	1976	22.0×15.2	エッチング
46	浜田知明	お先真っ暗(版画集「曇後晴」)	1976	23.4×12.1	エッチング・アクアチント
47	浜田知明	心情不安定 (版画集「曇後晴」)	1976	21.8×16.1	エッチング・アクアチント
48	浜田知明	気にしない気にしない (版画集「曇後晴」)	1976	28.6×14.6	エッチング・アクアチント
49	浜田知明	何とかなるさ(版画集「曇後晴」)	1976	21.6×16.5	エッチング・アクアチント
50	浜田知明	かげ (版画集「曇後晴」)	1977	21.7×15.3	エッチング・アクアチント
51	浜田知明	浮上 (版画集「曇後晴」)	1977	22.2×18.1	エッチング・アクアチント
52	浜田知明	家族 (版画集「曇後晴」)	1977	19.4×16.0	エッチング・アクアチント
53	赤瀬川原平	トマソン黙示録 真空の踊り場・四谷階段	1988	36.4×51.5	オフセット
54	赤瀬川原平	トマソン黙示録 歩行者用のダム	1988	36.4×51.5	オフセット
55	赤瀬川原平	トマソン黙示録 通り抜けた家	1988	36.4×51.5	オフセット
56	赤瀬川原平	トマソン黙示録 無用の庇窓の夢	1988	36.4×51.5	オフセット
57	赤瀬川原平	トマソン黙示録 午後3時・影の越境するとき	1988	36.4×51.5	オフセット
58	赤瀬川原平	トマソン黙示録 雨上がりの体重計	1988	36.4×51.5	オフセット
59	赤瀬川原平	トマソン黙示録 風のレコード	1988	36.4×51.5	オフセット
60	赤瀬川原平	トマソン黙示録 凹んだ凸・両性具有	1988	36.4×51.5	オフセット
61	赤瀬川原平	トマソン黙示録 同じ日のハレー彗星	1988	36.4×51.5	オフセット
62	赤瀬川原平	トマソン黙示録 セメントーフ	1988	36.4×51.5	オフセット
63	赤瀬川原平	トマソン黙示録 干渉縞	1988	36.4×51.5	オフセット
64	赤瀬川原平	トマソン黙示録 駐車場の主	1988	36.4×51.5	オフセット
65	赤瀬川原平	トマソン黙示録 なおも画鋏で留めた記憶	1988	36.4×51.5	オフセット
66	赤瀬川原平	トマソン黙示録 獐猛な肛(テールランプ)門	1988	36.4×51.5	オフセット
67	黒澤 明	乱 狂阿彌	1985	49.0×36.0	リトグラフ
68	黒澤 明	乱 針鼠	1985	49.0×36.0	リトグラフ
69	黒澤 明	乱 末の方最期	1985	36.0×49.0	リトグラフ
70	黒澤 明	乱 一文字秀虎	1985	36.0×49.0	リトグラフ
71	黒澤 明	乱 楓の方	1985	49.0×36.0	リトグラフ
72	黒澤 明	乱 次郎の陣	1985	36.0×49.0	リトグラフ

3.1.2. 郷土在住作家展 I 仲町謙吉展

概要 仲町謙吉は、1920（大正9）年、臼杵市に生まれた。大分県師範学校を経て、1940（昭和15）年、東京美術学校師範科に進み、1943（昭和18）年には《深田石仏》で文展に初入選を果たした。その後、日展、光風会展を中心に作品発表を続け、大分の石造美術を素材として、風格ある石仏を安定感に満ちた画風の中に展開した。

また、高等女学校、大分大学等で教鞭をとる一方、大分県美術協会や大分県造形教育研究会などの発展に尽力し、大分県美術協会会長、大分県芸術文化振興会議会長などを歴任し、大分県の美術・芸術の振興に寄与した。1979（昭和54）年、大分大学教育学部長、1984（昭和59）年、同大学名誉教授、1994（平成6）年には、勲三等旭日中綬章を受章した。

本展では、仲町謙吉の画業の足跡をたどり、その全貌を紹介した。

会期 平成19年6月5日（火）～6月21日（木） 公開日数 15日

主催 大分市美術館、大分合同新聞社

後援 NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 油彩54点及び関連資料（案内状、書簡）2点

観覧者数 2,326人

観覧料 一般500（400）円/高大生300（250）円、中学生以下無料

※（ ）内は20人以上の団体料金

作家トーク 6月9日 午後2時～3時30分 ハイビジョンホール 168人

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日時 会期中毎週水曜日 午後2時～

場所 企画展示室

参加者 65名

印刷物 ・ポスターB2判・チラシA4判・パンフレットA3判二つ折り

関連記事 「おおいた文化 郷土在住作家展 I」『大分合同新聞』5月31日

「地域密着の美術館 郷土在住作家展の意義」『大分合同新聞』6月7日

「郷土在住作家展 I 仲町謙吉展から 上」『大分合同新聞』6月8日

「郷土在住作家展 I 仲町謙吉展から 下」『大分合同新聞』6月9日

「仲町謙吉展 石仏画見応え十分」『大分合同新聞』6月14日

「仲町謙吉展作家トーク」『大分合同新聞』6月18日

（担当／大神）

目録

No.	作 品 名	制 作 年	寸 法 (c m)	素 材 ・ 技 法	所 蔵 ・ 出 品 歴 ・ 他
1	深田石仏	1943	116.5×91.0	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵 第6回新文展
2	苔むす深田石仏	1946	91.0×116.5	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵
3	ゆかたの女	1956	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第12回日展
4	ひまわり	1958	90.9×116.7	油彩、キャンバス	第44回光風会展
5	きものの女	1961	162.1×130.3	油彩、キャンバス	第4回新日展
6	茶色の服	1961	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第47回光風会展
7	雪の別府連山	1961頃	41.0×106.0	油彩、キャンバス	
8	花	1963頃	130.3×97.0	油彩、キャンバス	
9	K子	1965	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第6回新日展
10	オーバーの女	1965	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第51回光風会展
11	花と少女	1965	90.0×64.0	油彩、キャンバス	
12	人物S	1968	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第54回光風会展
13	けし	1969	90.9×65.2	油彩、キャンバス	大分市蔵
14	春遠からじ	1975	162.0×97.0	油彩、キャンバス	第61回光風会展
15	子ども	1981	72.7×116.7	油彩、キャンバス	
16	出会い	1981	116.7×72.0	油彩、キャンバス	第17回大分県美術展
17	求	1982	162.0×97.0	油彩、キャンバス	第13回県美展
18	流転	1982	145.5×112.0	油彩、キャンバス	第18回県美展
19	仏と椿	1982	162.0×97.0	油彩、キャンバス	
20	残色	1983	162.0×130.3	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵 第19回新日展
21	仏Ⅱ	1983	193.9×259.1	油彩、キャンバス	鞆鞆美術館一時保管
22	菩薩	1983	193.9×130.3	油彩、キャンバス	鞆鞆美術館一時保管
23	仏Ⅲ	1983	162.1×130.3	油彩、キャンバス	鞆鞆美術館一時保管
24	地蔵	1983	181.8×227.3	油彩、キャンバス	鞆鞆美術館一時保管
25	仏頭Ⅰ	1983	162.1×130.3	油彩、キャンバス	大分市美術館蔵 第 19回県美展
26	仏頭Ⅱ	1983	130.3×162.1	油彩、キャンバス	
27	宙	1984	162.1×130.3	油彩、キャンバス	大分市美術館蔵 第 20回県美展
28	仏	1985	162.1×130.3	油彩、キャンバス	
29	峠	1992	116.7×91.0	油彩、キャンバス	
30	仏	1992	116.7×91.0	油彩、キャンバス	第28回県美展 大分 県美術協会賞
31	耀	1994	116.7×90.9	油彩、キャンバス	
32	残彩	1994	116.7×91.0	油彩、キャンバス	
33	仏	1995	114.0×89.0	油彩、キャンバス	

34	九重高原	1995	44.5×52.0	油彩、キャンバス	
35	仮面のおもい	1996	116.7×90.9	油彩、キャンバス	
36	青い鳥・天華	1997	117.2×91.0	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵 第33回県美展
37	大日如来	1997	44.0×52.0	油彩、キャンバス	
38	火の鳥「阿」	1998	116.5×91.0	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵 第34回県美展
39	仁王（吽）	1998	71.0×60.0	油彩、キャンバス	
40	仁王（吽）	1998	71.0×60.0	油彩、キャンバス	
41	大日如来	1998	44.0×36.8	油彩、キャンバス	
42	法輪	2000	114.0×89.0	油彩、キャンバス	
43	秋深し	2005	89.4×145.5	油彩、キャンバス	
44	ぼたん	2005	44.0×36.8	油彩、キャンバス	
45	仁王 I	2007	116.7×90.9	油彩、キャンバス	
46	仁王 II	2007	116.7×90.9	油彩、キャンバス	
47	ひまわり	制作年不詳	44.0×36.8	油彩、キャンバス	
48	由布早春	制作年不詳	30.8×39.8	油彩、キャンバス	
49	磨崖仏	制作年不詳	44.0×31.5	油彩、キャンバス	
50	残像	制作年不詳	71.0×60.0	油彩、キャンバス	
51	仁王（阿）	制作年不詳	59.0×48.8	油彩、キャンバス	
52	由布秋深し	制作年不詳	52.0×72.0	油彩、キャンバス	
53	青い鳥・石仏三尊	制作年不詳	115.0×89.0	油彩、キャンバス	
54	仁王（吽）	制作年不詳	114.0×89.0	油彩、キャンバス	

3. 1. 3. 郷土在住作家展 I 脇正人展

概要 脇正人は、1926（大正 15）年、大分市に生まれた。大分師範学校を卒業後、小学校、中学校の教諭を務める一方で、1954（昭和 29）年、自由美術協会展に初入選し、以後同展を主舞台として活躍を続けた。

1957（昭和 32）年の I（鬻）会以降、大分前衛美術会、7 人の会、潮流展、の結成に参加、1986（昭和 61）年には、新潮流の会代表となるなど大分県の美術会をリードしてきた。1959（昭和 34）年、自由美術協会展で佳作賞を受賞、1966（昭和 41）年、自由美術協会会員。1986（昭和 61）年、自由美術協会展で平和賞、1989（平成元）年、自由美術協会展で自由美術賞を受賞。1991（平成 3）年、大分県美術協会長に就任し、2001（平成 13）年には、大分県芸術文化振興会議会長を務めた。

本展では、脇正人の画業の全貌を紹介した。

会期 平成 19 年 6 月 23 日（土）～7 月 8 日（日） 公開日数 15 日

主催 大分市美術館、大分合同新聞社

後援 NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 油彩 55 点及び素描 2 点

観覧者数 1,270 人

観覧料 一般 500（400）円/高大生 300（250）円、中学生以下無料

※（ ）内は 20 人以上の団体料金

作家トーク 6 月 23 日 午後 2 時～3 時 30 分 ハイビジョンホール 132 人

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日 時 会期中毎週水曜日 午後 2 時～

場 所 企画展示室

参加者 53 名

印刷物 ・ポスター B2 判・チラシ A4 判・パンフレット A3 判二つ折り

関連記事 「地域密着の美術館 郷土在住作家展の意義」『大分合同新聞』6 月 7 日

「郷土在住作家展 I 脇正人展から 上」『大分合同新聞』6 月 26 日

「郷土在住作家展 I 脇正人展から 下」『大分合同新聞』6 月 27 日

「脇正人展作家トーク」『大分合同新聞』7 月 2 日

「脇正人展 線画に刻む心象表現」『大分合同新聞』7 月 5 日

（担当／大神）

目 録

No.	作 品 名	制 作 年	寸 法 (cm)	素 材 ・ 技 法	所 蔵 ・ 出 品 歴 ・ 他
1	家	1958	80.3×116.7	油彩、キャンバス	第22回自由美術協会展
2	幕舎	1959	72.7×100.0	油彩、キャンバス	第23回自由美術協会展
3	人	1959	90.9×65.2	油彩、キャンバス	第23回自由美術協会展
4	作品O	1966	116.7×90.9	油彩、キャンバス	第30回自由美術協会展
5	作品A	1969	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第33回自由美術協会展
6	作品B	1969	90.9×116.7	油彩、キャンバス	第33回自由美術協会展
7	作品A	1970	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第34回自由美術協会展
8	作品B	1970	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第34回自由美術協会展
9	作品C	1970	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第34回自由美術協会展
10	ひと	1971-1972	80.3×60.3	油彩、キャンバス	第4回7人の会展
11	人 (I)	1971-1972	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第4回7人の会展
12	人 (II)	1971-1972	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第4回7人の会展
13	作品	1972	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'72 自由美術協会展
14	作品'82-Ⅲ	1982	116.7×90.9	油彩、キャンバス	'82 自由美術協会展
15	作品Ⅱ	1982	116.7×90.9	油彩、キャンバス	'82 自由美術協会展
16	作品 (B)	1982	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'82 自由美術協会展
17	片々A	1983	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'83 自由美術協会展
18	片々B	1983	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'83 自由美術協会展
19	片々C	1983	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'83 自由美術協会展
20	コンポジション (A)	1986	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'86 自由美術協会展
21	コンポジション (B)	1986	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'86 自由美術協会展
22	コンポジション (A)	1987	145.5×145.5	油彩、キャンバス	'87 自由美術協会展
23	コンポジション (B)	1987	145.5×145.5	油彩、キャンバス	'87 自由美術協会展
24	コンポジション (C)	1987	145.5×145.5	油彩、キャンバス	'87 自由美術協会展
25	象	1988	145.5×145.5	油彩、キャンバス	'88 自由美術協会展
26	作品'88-2	1988	130.3×97.0	油彩、キャンバス	'88 自由美術協会展
27	作品'88-3	1988	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'88 自由美術協会展
28	'89 作品 (5)	1989	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'89 自由美術協会展 自由美術賞
29	'89 作品 (6)	1989	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'89 自由美術協会展 自由美術賞 大分市美術館蔵
30	'90 黒い物 (A)	1990	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'90 自由美術協会展
31	'90 黒い物 (B)	1990	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'90 自由美術協会展
32	'90 黒い物 (A)	1990	116.7×116.7	油彩、キャンバス	'90 自由美術協会展
33	ケチャ (バリ島) スケッチ	1990	25.8×20.8	紙、鉛筆	

34	ケチャ（バリ島） スケッチ	1990	25.8×20.8	紙、鉛筆	
35	作品A	1993	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'93 自由美術協会展
36	作品B	1993	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'93 自由美術協会展
37	作品C	1993	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'93 自由美術協会展
38	風景・II	1995	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'95 自由美術協会展
39	風景	1995	130.5×130.5	油彩、キャンバス	第10回新潮流展 大分県立 芸術会館蔵
40	1996A	1996	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'96 自由美術協会展
41	1996B	1996	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'96 自由美術協会展
42	'97 風景	1997	145.7×145.8	油彩、キャンバス	'97 自由美術協会展 大分 県立芸術会館蔵
43	光景	1998	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'98 自由美術協会展
44	'99 風景3	1999	130.5×130.5	油彩、キャンバス	第35回県美展 大分県立芸 術会館蔵
45	風景A	2000	130.3×130.3	油彩、キャンバス	第64回自由美術協会展
46	風景	2000	50.0×65.2	油彩、キャンバス	
47	2001A	2001	145.5×145.5	油彩、キャンバス	第65回自由美術協会展
48	風景・A	2002	130.3×130.3	油彩、キャンバス	第66回自由美術協会展
49	風景・B	2002	130.3×130.3	油彩、キャンバス	第66回自由美術協会展
50	風景2003・A	2003	130.3×130.3	油彩、キャンバス	第67回自由美術協会展
51	風景2003・B	2003	145.5×145.5	油彩、キャンバス	第67回自由美術協会展
52	2005・風景A	2005	145.5×145.5	油彩、キャンバス	第69回自由美術協会展
53	風景B	2006	145.5×145.5	油彩、キャンバス	第70回自由美術協会展
54	2007年	2007	145.5×145.5	油彩、キャンバス	
55	風景1	2007	53.0×65.2	油彩、キャンバス	2007年個展
56	風景	2007	45.5×27.3	油彩、キャンバス	2007年個展
57	風景（黄）	2007	50.0×60.6	油彩、キャンバス	2007年個展

3.1.4. ヴェネツィア絵画のきらめき ー栄光のルネサンスから華麗なる18世紀へー

概 要	ジョルジョーネ、ティツィアーノ、ティントレット、ヴェロネーゼが活躍したルネサンス期からカナレット、ティエポロ、ロンギなどが活躍した18世紀までのヴェネツィア絵画の黄金期の全貌を、クエリーニ・スタンパリア美術館（ヴェネツィア）、ドーリア・パンフィーリ美術館（ローマ）、アカデミア・ディ・サン・ルカ美術館（ローマ）などの美術館所蔵品等により、神話や宗教画、寓意画、祝祭に彩られた都市景観画、風俗画など71点の油彩画、パステル画等により紹介した。
会 期	平成19年7月14日（土）～8月27日（月） 公開日数44日
主 催	大分市美術館、大分合同新聞社
後 援	NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分
出品点数	71点
観覧者数	19,463人
観覧料	一般1,000(800)円/高大生700(500)円、中学生以下無料 ※（ ）内は20名以上の団体。
展示解説	■美術館職員による展示解説（要観覧料） 日 時 会期中毎週水曜日 午後2時～ 場 所 企画展示室 参加者 247名
関連記事	「ヴェネツィア絵画のきらめき展開幕黄金期の70点」 『大分合同新聞』7月14日（抜粋） 「ヴェネツィア絵画のきらめき展から（1）」 夕刊『大分合同新聞』7月31日 「ヴェネツィア絵画のきらめき展から（2）」 夕刊『大分合同新聞』8月1日 「ヴェネツィア絵画のきらめき展から（3）」 夕刊『大分合同新聞』8月2日 「ヴェネツィア絵画のきらめき展から（4）」 夕刊『大分合同新聞』8月3日 貞包博幸「見どころは色の扱い」 夕刊『大分合同新聞』8月9日 「輝く色彩と叙情」 夕刊『大分合同新聞』8月21日

（担当 岩尾）

目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	ジョヴァンニ・ベッリーニと工房 (ニコロ・ロンディネッリ?)	聖母子と洗礼者聖ヨハネ	1500 頃	75. 5×60. 6	油彩、板
2	チーマ・ダ・コネリアーノ	風景の中の聖母子	1505-07 頃	28. 7×21. 5	油彩、板
3	ヴィンツェンツォ・カテーナ	書斎の聖ヒエロニムス	1515-20 頃	73. 0×101. 0	油彩、キャンバス
4	ティツィアーノ・ヴェチェリオ	洗礼者聖ヨハネの首をもつサロメ	1515 頃	89. 5×73. 0	油彩、キャンバス
5	パルマ・イル・ヴェッキオ	未完の風景の中のウェヌス	1528	112. 0×165. 0	油彩、キャンバス
6	ドメニコ・カンパニョーラ	トビアスと天使	1530 頃	99. 5×50. 5	油彩、板
7	ポリドーロ・ダ・ランチャーノ	聖会話	1540 頃	114. 0×167. 0	油彩、キャンバス
8	ランベルト・スストリス	洗礼者聖ヨハネの説教	1554	38. 0×60. 0	テンペラ、羊皮紙
9	ヤコポ・バッサーノ	マギの礼拝	1562-64	74. 5×102. 0	油彩、キャンバス
10	ヤコポ・ティントレット	愛の始まりの寓意	1562	174. 0×232. 0	油彩、キャンバス
11	ヤコポ・ティントレット	奏楽天使	1584	143. 0×108. 0	油彩、キャンバス
12	パオロ・ヴェロネーゼ	キリストと刑吏たち (エック・ホモ)	1586-88	72. 5×85. 0	油彩、キャンバス
13	パドヴァニーノ	キリストの神殿奉献	制作年不詳	125. 0×210	油彩、キャンバス
14	ドメニコ・フェッティ	メランコリア	1618 頃	180. 0×116	油彩、キャンバス
15	ルカ・ジョルダーノ	ギリシアの哲学者	1650 頃	106. 0×89. 0	油彩、キャンバス
16	ヨーゼフ・ハインツ	アイソンを若返らせるメディアア	1650-60 頃	50. 0×89. 0	油彩、キャンバス
17	アントニオ・ザンキ	善きサマリア人	1670 頃	139. 0×189. 0	油彩、キャンバス
18	フランチェスコ・モンティ	寓意のモニュメント (ウィリアム・クーパーに捧げる)	1725	82. 0×53. 0	油彩、キャンバス
19	ジャンバッティスタ・ピットーニ	寓意のモニュメント (アイザック・ニュートンに捧げる)	1725	82. 0×53	油彩、キャンバス
20	ジョヴァンニ・アントニオ・ペッレグリーニ	中風病みを治すキリスト	1730	91. 0×54. 5	油彩、キャンバス
21	ジャンバッティスタ・ピットーニ	聖母子と聖ヨセフを礼拝する聖女テレサ、聖ペテロ、聖女ウルスラ、司教	制作年不詳	153. 0×83	油彩、キャンバス
22	ジャンバッティスタ・ティエポロ	幼子キリストと聖ヨセフ	1714 頃	53. 0×45. 0	油彩、キャンバス
23	ジャンバッティスタ・ティエポロ	ゴリアテの首をもつダヴィデ	1720 頃	91. 5×71. 0	油彩、キャンバス
24	ジャンバッティスタ・ティエポロ	聖母子と聖フィリッポ・ネーリ	1728	25. 5×20. 0	油彩、銅板
25	ジャンバッティスタ・ティエポロ	カプチン修道会士の死	1755-57	56. 0×42. 0	油彩、キャンバス

26	ジャンバッティスタ・ティエポロとアントニオ・ベルッチ	ダヴィデの歌	1709-51年	128.0×94.0	油彩、キャンバス
27	ジャンベッティーノ・チニャローリ	聖母子	1735頃	83.0×66.0	油彩、キャンバス
28	ロザルバ・カッリエーラ	弦楽器をもつ少年	1740頃	45.0×36.0	パステル、紙
29	ロザルバ・カッリエーラ	タンバリンをもつ少女	1740頃	45.0×36.0	パステル、紙
30	フランチェスコ・ズッカレッリ	アルカディア風景	1760頃	70.0×104.0	油彩、キャンバス
31	フランチェスコ・グアルディ	パリスの審判	1760	41.0×55.0	油彩、キャンバス
32	ニコロ・カッサーナ	統領シルヴェストロ・ヴァリエールの肖像	1694	79.0×65.5	油彩、キャンバス
33	ニコロ・カッサーナ工房	統領夫人エリザベッタ・クエリニニヴァリエールの肖像	1694	80.0×65.5	油彩、キャンバス
34	ピエトロ・リーペリ	統領フランチェスコ・コルナーロの肖像	1656	271.0×182.0	油彩、キャンバス
35	セバスティアーノ・リッチ	統領ジョヴァンニ・コルナーロ1世の肖像	1715	271.0×182.0	油彩、キャンバス
36	ジャンバッティスタ・ティエポロ	統領マルコ・コルナーロの肖像	1715	271.0×181.0	油彩、キャンバス
37	グレゴリオ・ラッザリーニ	功績の寓意	1694	137.5×119.5	油彩、キャンバス
38	フランチェスコ・グアルディ	ブチントーロの出航、サン・ニコロ・デル・リド	1750頃	23.0×36.0	油彩、キャンバス
39	ヴェネトの画家（ジョルジョーネ帰属）	男の肖像	1500-02	26.5×21.4	油彩、板
40	マルコ・バザイーティ	男の肖像	1515-20	55.5×45.0	油彩、キャンバス
41	ティツィアーノ・ヴェチェリオ	ズアン・パオロ・ダ・ポンテの肖像	1534	91.0×75.5	油彩、キャンバス
42	ティツィアーノ・ヴェチェリオ	ジャンバッティスタ・ラムージオの肖像	1540	25.0×22.0	油彩、板
43	ティツィアーノ・ヴェチェリオ（帰属）	混血の少年の肖像	1560-70頃	51.5×41.0	油彩、キャンバス
44	ロレンツォ・ロット	犬を連れた男の肖像	1545頃	87.5×73.5	油彩、キャンバス
45	ヤコポ・ティントレット	若い男の肖像	1553-60頃	105.0×92.0	油彩、キャンバス
46	ヤコポ・ティントレット	元老院議員の肖像	1572頃	115.0×98.0	油彩、キャンバス
47	ジョヴァンニ・アントニオ・ファゾーロ	若い貴婦人の肖像	1570頃	20.0×16.2	油彩、板
48	ピエトロ・ヴェッキア	争い	1650頃	58.0×75.0	油彩、キャンバス
49	ジローラモ・フォラボスコ	真珠の首飾りをつけた若い女性の肖像、赤い髪飾りをつけた若い女性の肖像	1650頃	17.2×13.4	油彩、銅板
50	ジローラモ・フォラボスコ	コルティジャーナ	1650頃	30.5×24.0	油彩、銅板
51	ロザルバ・カッリエーラ	ジャンバッティスタ・ティエポロの肖像	1726頃	76.0×62.5	油彩、キャンバス
52	カナレット	パリアア橋からの眺め、埠頭とパラッツォ・ドゥカーレ	1725	65.0×86.0	油彩、キャンバス

53	カナレット	プンタ・デッラ・ドガーナからの眺め、サン・ジョルジョ・マッジョーレ島	1728 頃	61.0×97.0	油彩、キャンバス
54	ベルナルド・ベロツト	サン・マルコ広場	1747 以前	69.0×115.0	油彩、キャンバス
55	ベルナルド・ベロツト	サン・マルコ広場とブチントーロ	1747 頃	74.0×114.0	油彩、キャンバス
56	フランチェスコ・グアルディ	嵐の海	1765-70 頃	52.0×85.0	油彩、キャンバス
57	ピエトロ・ロンギ	糸巻きをする女	1750 頃	61.5×50.5	油彩、キャンバス
58	ピエトロ・ロンギ	ラ・フルラーナ	1750-55 頃	61.0×49.5	油彩、キャンバス
59	ピエトロ・ロンギ	リドット（賭博場）	1757-60?	62.0×51.0	油彩、キャンバス
60	ピエトロ・ロンギ	ライオンの見世物小屋	1762	62.0×51.5	油彩、キャンバス
61	ガブリエル・ベッラ	十人委員会の間	1779 以 降 -1792 以 前	94.0×147.0	油彩、キャンバス
62	ガブリエル・ベッラ	トーガの着衣式、ブローリオ	1779 以 降 -1792 以 前	94.5×122.0	油彩、キャンバス
63	ガブリエル・ベッラ	聖金曜日の行列	1779 以 降 -1792 以 前	94.2×145.5	油彩、キャンバス
64	ガブリエル・ベッラ	教区司祭の入場、サンタ・マルゲリータ広場	1779 以 降 -1792 以 前	94.5×120.5	油彩、キャンバス
65	ガブリエル・ベッラ	サンタ・マリア・デラ・サルテー聖堂での婚礼	1779 以 降 -1792 以 前	94.0×145.0	油彩、キャンバス
66	ガブリエル・ベッラ	サンタルヴィーゼ広場でのサッカー	1779 以 降 -1792 以 前	97.5×131.5	油彩、キャンバス
67	ガブリエル・ベッラ	テニス	1779 以 降 -1792 以 前	96.0×146.0	油彩、キャンバス
68	ガブリエル・ベッラ	サン・ピエトロ・ディ・カステッロでの水上バレード	1779? 以 降 -1792 以 前	95.0×149.0	油彩、キャンバス
69	ガブリエル・ベッラ	レデントーレの夜	1779 以 降 -1792 以 前	95.0×121.5	油彩、キャンバス
70	ガブリエル・ベッラ	四旬節前の木曜日の祭、ピアッツェッタ	1779 以 降 -1792 以 前	96.5×146.8	油彩、キャンバス
71	ジュゼッペ・ベルナルディーノ・ビゾン	パラッツォ・ドゥカーレに入るフランス大使ジェルジ伯、1726年11月4日	1800 頃	181.0×258.0	油彩、キャンバス